

コミュニティへの投資

当社は総合フィルタメーカーとして「環境」「空気」「健康」の重点テーマを軸に、「仕濾過事」の精神のもと、フィルタ製品や人材を通じて当社グループの各拠点や工場がある地域を中心に、地域コミュニティやさまざまなステークホルダーとの連携を図り、社会発展に貢献していきます。

注力領域

- 地域社会での環境保全や社会貢献活動の推進
- 次世代への教育・社会機会の創出によるエンパワーメント
- 緊急災害支援やマスクを通じたパンデミック対応

フィルタを通じた地域貢献

新型コロナウイルス感染症の感染急拡大に伴うマスク不足のさなか、「マスクもフィルタの一種。総合フィルタメーカーとして今が社会のお役に立つとき」との想いから、急遽マスクの製造を開始しました。開発に際しては、3大性能（フィルタ性能・密封性能・通気性能）を重視し、「微粒子を漏れなく捕集するだけでなく、息がしやすい」次世代の高機能マスクとして、多くの方に支持されています。一部のマスクは北海道七飯町で委託生産を行っており、地域の雇用創出にもつながりました。

また、もっと人々の健康に寄与したいとの想いから、当社製品「ヤマシン・フィルタマスク®」を神奈川県や当社生産工場や研究開発拠点がある佐賀県上峰町、横須賀市、佐賀事業所の従業員の出身校である公立高校などに、合計約70万枚を寄付しました。この寄贈に対して

2023年には神奈川県を通じて「紺綬褒章」が授与されました。これまでに佐賀県立鳥栖工業高等学校にマスクを約1,600枚、バレーボール世界大会に協賛した際は、マスクを1,000枚を提供・配布しました。寄贈した「究極のヤマシン・フィルタマスク®」は、医療用マスクでも採用している、独自特許技術のナノファイバー製フィルタ「YAMASHIN Nano Filter™」を使用したマスクで、神奈川県では宿泊療養施設や社会福祉施設などで活用していただきました。

工場・研究所での地域貢献

佐賀事業所では、地元の工業高校生などの工場見学を受け入れています。2024年度は、地元の工業高校で行われた卒業生による進路講話にOBである佐賀事業所の従業員が参加するなど、交流を深めています。

海外拠点では、セブ工場に順天堂大学 国際教養学部 教員および学生を受け入れ、工場見学ならびに現地従業員との交流を通じ、海外での企業運営について学んでもいただきました。また、2024年度には、セブ工場の従業員が環境保全および地域社会との共生を目的として、海岸クリーンアップイベントやEarth Hourイベントに積極的に参加し、地域住民やNGOなどの団体と交流を深めました。さらに、マクタン輸出加工区輸出業者・製造業者協会 (Mactan Export Processing Zone Chamber of Exporters and Manufacturers) の活動に協力し、子どもたちに笑顔を届けることを目的としたクリスマスイベント「Pasko sa Kabataan」にも参画しました。このイベントでは、地元の小学校に通う恵まれない子どもたちに対し、学習支援の一環としてバッグや文房具、

生活用品などを贈呈し、従業員が直接交流することで地域への感謝と温かい支援の気持ちを伝えました。

国内では地域の団体、高校やイベントなどに対し、グループでこれまでに約1,300万円（マスク寄付も含む）を寄付しており、2024年4月に台湾東部沖で地震が発生した際には、被災者の方々への義援金として100万円を日本赤十字社に寄付しました。



海岸クリーンアップイベント



クリスマスイベントにバッグや文房具を贈呈

重油吸着フィルタの提供

2019年8月の豪雨に見舞われた佐賀県では、大規模な冠水・浸水被害に加え、地元企業から流出した重油も大きな問題となりました。この重油を回収するため、高い吸油性能を持つナノフィルタを提供しました。これをきっかけに油吸着材を開発し、2021年6月に商品化しました。